

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

小児の言語障害を臨床分類により、障害のタイプと原因および臨床の手順と指導法について学習する。  
言語発達遅滞の各論では、幼児期、小児期に診断される障害について、DSM-IV-TRにそって学び、臨床例と言語指導は画像において確認する。

<学習目標>

言語発達障害全体を理解する。  
障害別の臨床像については、①言語症状および発達特徴および②発達課題を言語と発達の諸側面（他領域）との関連において理解する。  
初回面接、評価、指導プログラムのたて方について、言語臨床の一連の流れを学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	言語発達障害総論	言語発達障害と関連領域	講義
2	言語発達障害のタイプと原因	臨床分類による障害のタイプと原因	講義
3	言語発達障害児の言語聴覚指導	臨床の流れ、施設・指導室・教材の紹介そして指導法	講義 ビデオ
4	言語発達障害各論 精神遅滞	ダウン症ほか	講義 ビデオ
5	広汎性発達障害（1）	自閉症	講義 ビデオ
6	広汎性発達障害（2）	高機能自閉症とアスペルガー症候群	講義 ビデオ
7	アセスメント	初回面接、評価、指導プログラムのたてかた	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害2：ことばの障害入門	西村辨作編	大修館書店	2001年 2200円
その他の資料	講義は、プリント使用			

【評価方法】 小レポート レポートまたは試験	【履修上の留意点】 画像学習での守秘義務については、充分留意すること
------------------------------	---------------------------------------